

会員外（一般）の皆様へご案内 日本農業労災学会 2021 年度（第 8 回）シンポジウムの開催について

平素より本学会活動につきましては、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、下記の通り、第 8 回シンポジウムを開催することになりました。今回のシンポジウムは、今般の新型コロナウイルス感染拡大のため、Zoomを使ったオンライン開催とさせていただきますことになりました。そのため、パソコンやスマホなどで Zoom を使用できる通信環境が必要ですが、お時間が合えば、遠方でも参加・聴講が可能です。シンポジウムに興味のある方は、参加申込書にご記入のうえお申し込みください。

ただし、今回、会員外の参加は、先着 20 名に限定させていただきます。ご了承ください。

記

1. 開催日時：2021 年 10 月 22 日（金）13:00～16:20（個別研究報告を除く）

2. 会 場：オンライン開催（Zoom による）

3. 主催団体：日本農業労災学会・東京農業大学総研研究会 3 研究部会
（労災対策研究部会・就農者推進教育研究部会・農業協同組合研究部会）

4. 後援団体：JA 全国組織、JA 単協等

5. シンポジウムのテーマ

『農作業事故防止のために産官学と農協・社労士グループとの連携をどう進めるか
－農作業安全対策の新たな展開方向を踏まえて－』

6. 開催趣旨・ねらい

今日、農作業安全や事故防止が緊急の課題として様々な対策が実施されているが、農作業による死亡や負傷事故件数が着実に減少していない。こうした中で農林水産省では農業機械作業に係わる死亡事故を令和 4 年に平成 29 年度比半減という明確な達成目標を立て、それに向けて具体的な取り組みを加速化しつつある。加えて、同省では農林水産業・食品産業の作業安全のための規範（共通規範）の策定を通じて、農林水産業・食品産業の働き方改革というより広い枠組みで作業安全に取り組む重要性を提起している。

一方で厚生労働省では複数就業すなわち、兼業や副業に対する作業安全や労災保険制度の改正が行われ、多様な働き方・ダイバーシティを踏まえた安全対策の推進が求められている。農業現場でも女性就業者や外国人労働者、農福連携などが重要な役割を果たすようになり、多様な農業就業形態を前提とした農作業安全対策をどうするかも喫緊の課題となっている。

このような課題に直面する中でより包括的かつ効果的な農作業事故防止・安全対策を進めるためには、農林水産業や食品産業の働き方改革の方向性を踏まえ、一層の産官学の組織的な連携、情報の共有が不可欠であると考えられる。本シンポジウムでは、産官学連携のもとに進められている農作業事故防止・安全に対する対策・取り組みについて、政策面や技術面から最新の現状や問題点を把握すると共に、ダイバーシティの視点から外国人労働者の安全対策についても検討を深めていきたいと考える。そのため、関係省庁による新たな対策や制度改正についての基調報告をベースに、産官学で取り組んでいる現地からの最新の農作業安全対策の報告も踏まえ、「農作業事故防止のための産官学と農協・社労士グループとの連携をどう進めるか」について共通認識の醸成に努め、今後の展開方向を明らかにすることをねらいとして本シンポジウムを開催する。

7. プログラム

- | | |
|---|-------------|
| 1) オンライン大会入室開始 | 12:30 |
| 2) 開会 | 13:00 |
| 3) 開会挨拶 | 13:00～13:10 |
| 日本農業労災学会会長 北田紀久雄
東京農業大学学長 江口 文陽 | |
| 4) 座長解題 | 13:10～13:20 |
| 半杭 真一（東京農業大学准教授）、宮永 均（JA はだの代表理事組合長） | |
| 5) 基調報告（6名、各15分+切替時間2分=17分） | |
| 第1報告 | 13:20～13:37 |
| 農作業事故防止安全対策の現段階と今後の展望・・・田島 淳（東京農業大学教授） | |
| 第2報告 | 13:37～13:54 |
| 安全性検査の充実と受検率の向上における連携のあり方・・・藤井 幸人（農研機構 農業機械研究部門 安全検査部長） | |
| 第3報告 | 13:54～14:11 |
| JA グループの農作業安全と GAP の取り組み・・・高橋 昭博（全国農協中央会営農・くらし支援部 営農担い手支援課考査役） | |
| 第4報告 | 14:11～14:28 |
| 北海道における農作業事故防止の取り組みについて・・・瀬野 俊彦（北海道農作業安全運動推進本部 事務局長） | |
| <休憩> | 14:28～14:40 |
| 第5報告 | 14:40～14:57 |
| 外国人技能実習生等の農家受け入れ実態と監理団体の役割—健康管理、農作業安全衛生管理との関連で・・・成井 貞行（茨城県 JA グループ監理団体「協同組合エコ・リード」） | |
| 第6報告 | 14:57～15:14 |
| 兼業・副業に係わる農作業安全対策と農業労災制度の役割・・・中村 仁（社会保険労務士・山梨県） | |

6) コメント (3名、各5分+切替時間1分)	15:14~15:32
コメンテーター	
①本田 雅弘 (石川県・農家)	
②由良 竜一 (神奈川県農業協同組合中央会 営農企画部長)	
③及川 次夫 (Thailand)	
7) 全体討論 (35分)	15:32~16:07
8) 座長総括	16:07~16:15
9) 閉会挨拶 学会副会長 堀内政徳	16:15~16:20
10) 閉会 (オンライン大会終了)	16:20

※個別研究報告の希望がある場合には、座長総括後に5分休憩し、16:20開始、16:45終了(報告15分、質疑応答10分)とし、その後に閉会挨拶(16:45~16:50)、閉会(16:50)とする。

8. 参加費等・申込み手続き

1) 参加費等

- (1) 大会参加費：2,000円
- (2) 不参加のため資料送付を希望の場合の代金：2,000円(送料込)

2) 申込み手続き

(1) 申込期限と申込み先

シンポジウム参加等をご希望の方は付属の「シンポジウムへの参加申込書」(会員外)に必要な事項をご記入の上、学会事務局宛に9月29日(水)までにお申し込みください。

(お願い) 参加申込書にメールアドレスの記入がない場合、オンライン参加に必要な情報メールの送信が出来ませんので、必ずご記入ください。また、大会資料の送付を申し込む場合、資料は参加申込書に記載された住所に郵送させていただきますので、ご了承ください。

(2) 参加費等は、10月8日(金)までに振込みをお願いしています。参加申込みが確定され次第、学会事務局より、郵便振替票を郵送しますので、お振り込みください。

3) オンライン開催までのプロセス

(1) 参加申込みの確認後、10月4日(月)より、順次、参加者にメールでZoom接続のためのURL等をご案内いたします。

(2) 参加費の送金をいただいた参加者には、10月11日(月)以降に逐次、大会要旨集のダウンロード方法についてご案内をいたします。各自ダウンロードしてご利用ください。

(3) シンポジウムには参加できないが、大会要旨集を希望する場合には、参加申込書にその旨ご回答をいただくと共に、大会要旨集代(送料込み)2,000円を10月8日(金)までご送金ください。大会終了後、10月25日(月)以降に郵送させていただきます。ただし、本年度の大会要旨集は簡易印刷版となりますのでご了承ください。

9. 学会事務局、問合せ先

本シンポジウムについての問合せ・参加申込みは、学会事務局までお願いいたします。

〒184-0004 東京都小金井市本町1丁目6番2号

メゾン・ド小金井 301 キリン社会保険労務士事務所内

電話番号 042-316-6420 / FAX 042-316-6430

E-mail : kuroda@kirin-office.com

ホームページ : <http://jfapr.jp/>

※本学会に入会を希望される方は、本学会のホームページにアクセスいただき、入会申込書にご記載の上で本学会事務局宛に FAX 等でお送りください。

以 上

「シンポジウムへの参加申込書」(会員外)

送付日：2021年 月 日

日本農業労災学会事務局御中

(FAX⇒042-316-6430、E-mail⇒ kuroda@kirin-office.com)

(該当欄に○印や必要事項を記入して **9月29日(水)必着**でお送りください)

	シンポジウムに参加 (2,000円)
	シンポジウムには参加できないが、資料送付を希望 (2,000円)
氏名：	(カタカナ：)
所属：	
以下の連絡先の確認：いずれかに○を付けてください。 勤務先 自宅	
連絡先住所：(〒)	
連絡先電話：	
連絡先FAX：	
連絡先E-mail：	

*オンライン開催のZoomアドレス等はメールアドレスに送信します。また、大会要旨集は、連絡先住所に郵送しますので、ご注意ください。

*学会事務局にこの「参加申込書」が到着し、参加登録を行い次第、事務局より振込用紙をお送りいたしますので、大会参加費などの事前送金(10月8日まで)をお願いいたします。